

育成を目指す資質・能力

- （知識・技能）材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みや、生活や社会、環境と材料や加工技術にかかわりについて理解するとともに、製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等をする技能を身に付けることができる。
- （思・判・表）技術に込められた問題解決の工夫について考え、表現するとともに、材料と加工の技術を評価し、適切に選択、管理・運用することができる。
- （学びに向かう力、人間性等）安全な生活や社会の実現に向けて課題の解決に取り組んだり、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について振り返ったりして、材料と加工の技術を工夫して創造しようとする。

ICT活用のポイント

のこぎり引きの様子をタブレットで撮影し、刃の使い方を確認したり、アドバイスしたりする。

【つかむ】

前時を振り返り、本時のめあてをつかむ。

刃わたり全体を使って効率よく切断するためのコツをつかもう。

【追究する】

作業のポイントをおさえながら、のこぎり引きの練習をおこない、効率よく切断するための技能を身に付ける。

【振り返る】

本時のめあてに沿って、振り返りとまとめをする。

事例の概要

のこぎり引きの様子をタブレットで撮影し、動画で動きを確認したり、学習支援ソフトを使って技能のポイントを共有したりして、アドバイスし合うことで技能を身に付ける。

【事例におけるICT活用の場面①】

- 前時の生徒の課題に即した、のこぎり引きの様子を動画で提示し、基本的なのこぎりの扱い方を確認するとともに、技能を高める上での視点を捉え、めあてをつかむことができるようにする。

【事例におけるICT活用の場面】

- タブレット端末を使用して自分や友達の切断の動作を確認し、技能の自己評価・相互評価をし、アドバイスの内容や気付いたことを学習支援ソフトで共有することで技能のポイントを意識してのこぎり引きを行い、技能を高めることができるようにする。

【事例におけるICT活用の場面①】

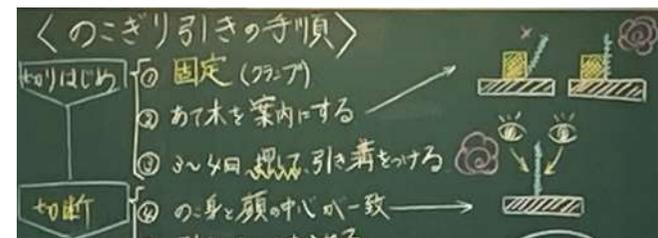


- 導入時にのこぎり引きの様子を動画で提示し、基本的なのこぎりの扱い方を確認するとともに、技能を高める上での視点をワークシートに示すことで、生徒がめあてをつかみ、のこぎり引きの練習の際に、自己評価をしたり、具体的なアドバイスをしたりすることができる。

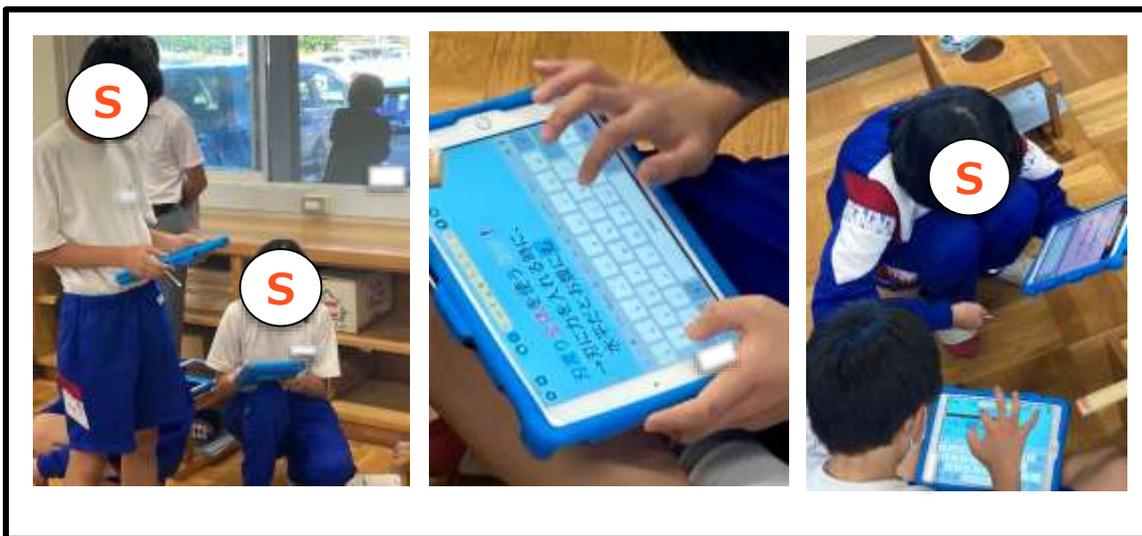
- 手順や安全面など常に意識させたいことは、板書やフリップ等に残す。

【活用したソフトや機能】

- カメラ



【事例におけるICT活用の場面②】



- のこぎり引きの練習の際に、動画で様子を確認することで、自分や友達の動きの様子を確認して適切な切断の方法を理解することができる。
- 自分の見つけた、のこぎり引きのこつを言語化して友達と共有したり、アドバイスし合ったりすることで、技能を高めることができる。

- 生徒が気付いたこつや、上達した生徒ののこぎりの使い方を振り返りの際に学級全体で共有する。

【活用したソフトや機能】

- カメラ
- 学習支援ソフト